

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：森林整備費

事業名 脱炭素社会に貢献する森林づくり事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 整備係 電話番号：058-272-1111 (内4386)

E-mail：c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 50,000 千円 (前年度予算額： 50,000 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	50,000	0	0	0	0	0	50,000	0	0
要求額	50,000	0	0	0	0	0	50,000	0	0
決定額	50,000	0	0	0	0	0	50,000	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

2050年までに県内の温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「2050年脱炭素社会ぎふ」の実現に向け、森林整備によるCO₂吸収源対策の強化が急務となっている。

また、皆伐後に植栽が行われない森林や気象災害等による被害森林を放置しておくとならば新たな災害を引き起こす可能性があり早急な対応が必要である。

本事業では、脱炭素社会に貢献するため、環境保全林内の被害森林等へ、早生樹等の植栽を進め、CO₂の吸収量を増やすための森林づくりを推進する。

(2) 事業内容

(ア) 対象森林

環境保全林内で森林経営計画が策定されていない被害森林等のうち、皆伐・再造林の推進に係る協定及び、脱炭素社会に貢献する森づくりに関する協定書を締結した森林

(イ) 補助対象事業

地拵え(特殊地拵え含む)、植栽、雪起こし、下刈り、鳥獣害対策(幼齢木保護材等)に要する経費

原則、普通苗より成長が早くCO₂吸収量が多い早生樹等が対象

(3) 県負担・補助率の考え方

(ア) 補助率：定額

※県の定める単価に事業量を乗じた額

- (イ) 単価設定
- | | |
|--------------|---------------|
| 地拵え＋植栽 | ：標準事業費の 95%以内 |
| 雪起こし（1 齢級まで） | ：標準事業費の 95%以内 |
| 下刈り（1 齢級まで） | ：標準事業費の 95%以内 |
| 鳥獣害対策 | ：標準事業費の100%以内 |

【拡】鳥獣害防止施設（シカ防護柵・幼齢木保護）は、経済的に最も有利な工法を補助の上限とする。

下刈りへの補助は、同一箇所ですら3回までとする。

(4) 類似事業の有無 有

・森林整備事業費補助金

持続可能な林業経営を目的とした森林経営計画に基づき森林整備を推進するための事業

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	117	業務旅費 苗木生産者現地確認等
需用費	33	消耗品費等
補助金	49,850	植栽等の森林整備への助成
合計	50,000	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

1 災害に強い循環型の森林づくり

①激甚化する災害に備えた山地防災力の維持・強化

(2) 国・他県の状況

環境税事業は、岐阜県を含め37府県で導入し実施している。

うち、再造林（植栽を含む森林整備）の実施は13府県。

(3) 後年度の財政負担

課税期間内に使途事業の達成状況や効果を検証し、継続等の見直しを行うこととしている。

(4) 事業主体及びその妥当性

(ア) 事業主体

市町村、林業事業体等

(イ) 妥当性

公益的機能の向上を図るために森林所有者に代わって森林の整備を行うものであり、要した経費を県が負担することは妥当。

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業
☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	脱炭素社会に貢献する森林づくり事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、林業事業体等 (理由) 森林整備を実施する能力を有するため。
補助事業の概要	(目的) 脱炭素社会に貢献するため、被害森林等への早生樹等の植栽を進め、CO2の吸収量を増やすための森林づくりを推進する。 (内容) 環境保全林内の被害森林等において植栽等を行う。
補助率・補助単価等	定額 (内容) 10/10以内（県が定める標準事業費が上限） 地拵え＋植栽：標準事業費の95%以内 雪起こし（1齢級まで）：標準事業費の95%以内 下刈り（1齢級まで）：標準事業費の95%以内 鳥獣害対策：標準事業費の100%以内 (理由) 公益的機能の維持のために森林所有者に代わって森林の整備を行うもの。
補助効果	気象災害等による被害森林の防止やCO ₂ 吸収源対策の強化が図れる。
終期の設定	終期 R8年度 (理由) 清流の国ぎふ森林・環境基金事業の第3期の期間

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 第4期岐阜県森林づくり基本計画に基づき、被害森林等の森林を100ha整備する。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①植栽等整備面積 (ha)		34	20	20	通算 100	

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	14,340	58,188	67,674

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	3市町にて人工造林を実施 (池田町、郡上市、八百津町)
	指標① 目標：20ha 実績：3.76ha 達成率：18.8 %
令和5年度	7市町にて人工造林を実施 (関市、中津川市、恵那市、郡上市、高山市、飛騨市、八百津町)
	指標① 目標：20ha 実績：29.60ha 達成率：148 %
令和6年度	7市町にて人工造林を実施 (関市、中津川市、恵那市、下呂市、高山市、飛騨市、八百津町)
	指標① 目標：20ha 実績：33.81ha 達成率：169 %

(事業の評価)

事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	脱炭素社会に貢献するために被害森林等への植栽を進め、CO2の吸収量を増やすための森林づくりの推進を図るために必要な事業である。
事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	目標面積20haに対して、169%の33.81haの実績であった。
事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	事後申請の適用により春植栽を実施し、事業の効率化が図られている。

(今後の課題)

事業が直面する課題や改善が必要な事項 低コスト化を進めるため、haあたりの植栽本数の削減が必要である。

(次年度の方向性)

継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 要望は増加傾向であり、引き続き被害森林等の整備を進めていく。
--